

プログラム能力で差別化 工程管理上の無駄を排除し、機械稼働率を上げていく 「加工条件は極力、上げていく。経験値は大切」

省力化機器部品で実績上げる匠 (山形・寒河江市)

ユキワ精工ツリーングユーザー訪問 — 瀬川社長に聞く



瀬川社長

入つてからの仕事量は目に見えて増えてきており、単価も高い。生産性アップを考慮し、加工条件は、極力、上げていくようにしているが、これは経験値という「財産」にもなる。追い込まない手はない。

現状は
スーパーG1チャックと
合わせ100本近く
活用するまでに

省力化機器部品を中心に手がける、2017年創業の匠を訪ねた。

創業者の瀬川社長は「寒河江市内の2社からの受注が基本で、多品種小ロットの世界を標榜している。被削材は、鉄、アルミ、ステンレス、チタン、樹脂、そして焼き入れ鋼と、実に多様な100種は10個、2個からせいぜい10個まで。切削加工による公差は100分の1レベル」との概要を語ってくれた。

1カ月先までの仕事量は読めるという。「他社との差別化はプログラム専属のスタッフの能力の高さにあり、工程管理上の無駄のなさや機械稼働率の高さに表れてくる」。

製造に従事するスタッフは8人。設備はヤマザキマザックの立形マシニングセンタが2台、

2年前にグリーンG1チャックを荒加工で導入

「ビビリがなく、加工音が静かで、面粗度がアップ。工具寿命は1・5倍に

導入する場合は、ユキワ製しかない」と瀬川社長は言い切る。「当面、増え続ける多品種への対応と言う点では、設備機械を増やすのではなく、ツリーングを充実させて、フローしていく計画。コストメリットを感じつつも、臨機応変な対応力も向上してくると思う」。



スタッフの林さん



オペレーターであり、瀬川社長の奥様でもある

仕事量の拡大には、
当面は機械設備の
増強ではなく、
ツリーングの活用を重視



特別賞 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞
中小企業庁長官賞

速くキレイに 削れるecoなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に迫り着く

ツリーングシステム

グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111 (代) FAX.0258-81-1112 <http://www.yukiwa.co.jp/>
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国 (上海)、U.S.A.

グリーンG1チャック

検索

